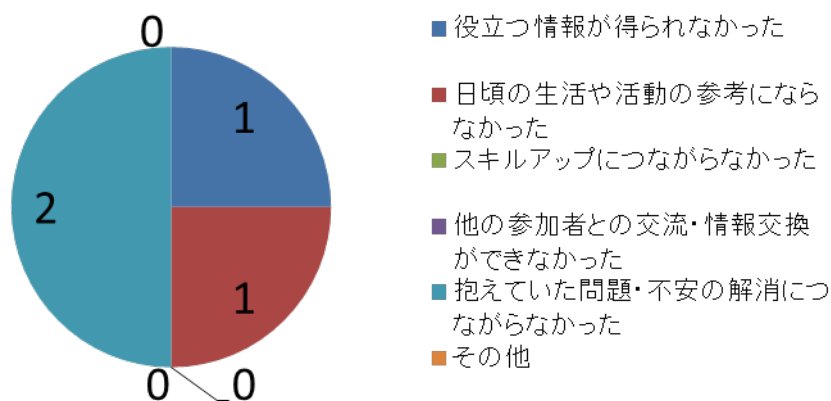


#### 問4 .どのような点が良くなかったですか？（複数回答有り）



#### 講演会の内容全般について、良かった点を具体的に教えてください。

- ・ 具体的な例がたくさんあったこと
- ・ 問題点が十分生理されていてよかった。
- ・ はしょった部分の話も聞きたかった。
- ・ フロアからの質問で市内の教育現場での問題点がわかりました。
- ・ 精神科医療は、国の政策により「追い込まれた」状態であり思春期外来をそなえる程の豊かさは、この国に無いのかもしれないと考えさせられます。
- ・ 質疑応答で「ぶっ殺してやる」という言葉はその子が親に向けて「向き合って欲しい」「ちゃんと見て欲しい」と言いたい言葉と聞いて涙があふれてきました。
- ・ 発達障害、高校2年生の子どもをどこに相談したら良いのか色々な所へ行き相談してきましたが精神科には気持ちが向いてませんでした。精神科受診も考えたいです。
- ・ 精神科医を身近に感じる事ができました。
- ・ 薬についての情報をこうした講演会で拝聴するのは初めてでしたので、聞いて良かったです。
- ・ 仕事で役立つ情報の他にも自分の子育てにも、とても役に立つ内容でした。
- ・ 精神科医師を身近に感じる事ができました。
- ・ 主張したいポイントがよくわからない。
- ・ 内容が広すぎて、印象に残る事がすくなかった。思春期外来の内容はわかりましたが、その前にどうすべきか等をもっと聞けたら良かったなあと思いました。

他 多数

第3回目の講演会も北見内からの参加者が大半でしたが、周辺市町村からの参加者もありました。講師は、オホーツク管内にはいない思春期外来が専門の医師による講演でした。開催日が休日という事もあり、保護者、役所関係、介護福祉関係、医療関係、教育関係からたくさんの参加申し込みがありました。精神科医の専門的な講演内容は普段聞く機会がないので、大きな反響となりました。内容については、実行委員からも要望した事項もあり多岐にわたり2時間では足りませんでした。質疑応答では、教育関係者から切実な質問がありました。誰しものが通る思春期ですがその対応の難しさ苦慮されている教育現場の問題がわかりました。北見にも、教育事例研究会が必要だと感じました。